



注目される「タイランド4.0」について

北陸銀行 国際部
バンコク駐在員事務所
吉田 雄司

1. はじめに

「タイランド4.0」とは、IT等のイノベーションを駆使し、商品やサービスの付加価値を向上させた次世代産業を振興しようとするタイ政府の長期ビジョンをいいます。

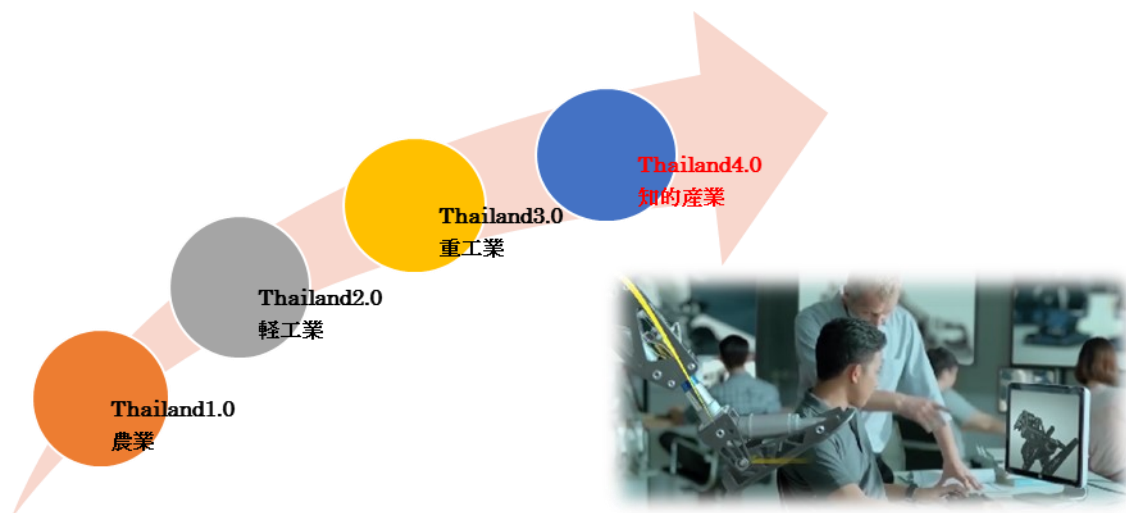
タイは、農林水産業が中心の「タイランド1.0」、軽工業が中心の「タイランド2.0」、重工業や自動車産業が中心の「タイランド3.0」を経て経済発展を遂げてきました。

2010年代前半までは、車両購入政策を追い風に好景気が続いていましたが、数年前よりタイ経済はやや失速し、タイ国民の所得も足踏み状態の「中進国の罠^(注1)」に陥ったと指摘する声もあります。

これを克服し安定した経済成長を実現すべく、タイ政府は「タイランド4.0」を掲げたのです。2017年2月には、プラユット首相自らがセミナーで、「今後も安定的な経済成長を遂げるため、農業分野、自動車産業分野などに代表される10分野を中心に投資を呼び込み、高付加価値かつ競争力のある分野に育てる施策として、『タイランド4.0』を進めていきたい」と発表しています。

※「中進国の罠^(注1)」

…国民の所得が中所得国のレベルで停滞し、先進国（高所得国）入りを中々果たせない状況を指します。これは、後進国が低賃金の労働集約産業の分野で外資を誘致し、中所得国の仲間入りを果たした後、自国の人件費の上昇や後発国の追い上げの一方で、他の先進国程、技術が無く付加価値商品を産み出せない結果、競争力を失い、経済成長が停滞する現象です。



【BOI資料及びHPより北陸銀行バンコク駐在員事務所作成】

2. 「タイランド4.0」が目指す次世代産業とは

「タイランド4.0」では以下の10分野の次世代産業が奨励されています。そしてタイ政府は、これらの産業を外国から誘致すべく、後述する「東部経済回廊」にインフラ整備を集中させる計画を発表しました。

1. 次世代自動車
2. スマート・エレクトロニクス
3. 富裕層向け医療・健康ツーリズム
4. 農業・バイオテクノロジー
5. 未来志向の食品
6. ロボット産業
7. 航空・ロジスティック
8. バイオ燃料とバイオ化学
9. デジタル産業
10. 医療ハブ

3. 東部経済回廊とは

東部経済回廊とは、タイの東海岸沿いのチョチュンサオ、チョンブリ、ラヨーンの3県に跨る経済回廊を指します。かつて「タイランド3.0」の時代に日系の自動車産業が多く進出し、今なお数多くの日系製造業が集積するエリアです。ASEANのハブ港であるレムチャバン港や高速道路が発達しており、タイ政府は次世代産業の振興拠点を東部経済回廊に位置づけました。



【東部経済回廊:タイ投資委員会HPより】

4. インフラ整備について

タイ政府は、2022年までの間に、約1.5兆バーツ(約4.8兆円)のインフラ整備を計画しています。具体的には、スワンナプーム空港・ドンムアン空港・ウタパオ空港を結ぶ高速鉄道の建設や、レムチャバン港の拡充等、バンコク市内と東部経済回廊を結ぶ陸海空の更なるアクセス向上が見込まれています。

5. 今後について

タイ現地では、「タイランド4.0」が自社にとってどのような好影響があるかについて、日本企業の関心が高まっています。

「タイランド4.0」に則した具体的な産業振興策(規制緩和、税制優遇など)は、今後順次発表される見通しであり、詳細が待たれるところです。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp